



松陰神社神代曙（記念植樹）



登記制度創造プロジェクト（tysによる重点点の取材）



県知事への要望書提出



令和2年度第2回本部研修会（財産管理人支援センター研修）



登記制度創造プロジェクト（成果品贈呈式）



CONTENTS



No.136-2021

5

山口地方法務局長着任挨拶

山口地方法務局長 石崎 司 1

令和2年度第1回本部研修会の報告

業務部理事 中川 秀幸 2

令和2年度第2回本部研修会の報告

業務部長 大下 竜司 3

令和2年度第3回本部研修会の報告

総務部理事 米原 太一 4

令和2年度第4回本部研修会の報告

境界問題解決支援センターやまぐち 副センター長 浦井 義明 5

登記制度創造プロジェクトの報告

70周年記念事業実行委員会委員長 白石 龍二 6

支部だより

令和2年度第1回周南支部研修会及び親睦会の報告

周南支部理事 西田 泰則 7

令和2年度第1回下関支部研修会の報告

下関支部企画委員 百合野 崇 8

「表示登記の日」無料相談会報告

各支部無料相談会開催場所・相談件数

周南会場 周南支部理事 重田 正将 10

宇部会場 宇部支部企画委員 村田 淳 11

日調連令和2年度土地家屋調査士新人研修受講報告

山口支部 齊藤 浩信 12

山口支部 荒木 進 12

防府支部 松田 幹央 13

周南支部 山下 裕司 13

下関工科高等学校出前授業の報告

下関支部企画委員 百合野 崇 14

事務所紹介

周南支部 西本 聡士 15

萩支部 伊藤 正典 18

青調会の活動

山口県青年調査士会 オンライン忘年会の報告

山口青調会副会長 荒川 猛 21

会員の作るページ

自主講座の回想 岩国支部 浦井 義明 22

中島順一さんを偲んで 岩国支部 浦井 義明 23

MOET&CHANDON (モエ・シャンドン・ロゼ)
萩支部 廣石 勝 24

事務局だより

広報部からのお知らせ

山口地方法務局長着任挨拶

山口地方法務局長 石崎 司



本年4月1日付け人事異動により、広島法務局人権擁護部長から山口地方法務局長に着任しました。どうぞよろしく申し上げます。

私は、広島県呉市の出身で、広島法務局で採用されました。山口局は、平成16年度から2年間、宇部支局での勤務経験があり、今回が2度目の勤務となります。広島法務局での勤務が23年間と一番長いですが、この他、鳥取局、宇都宮局、松江局、熊本局及び秋田局での勤務経験があります。

山口県は、歴史的な遺産や昔ながらの街並みが多く残り、自然豊かで四季が美しい所との印象を持っていますので、この機会に、再度、各所を訪ねてみたいと思っています。

現在、法務局では、相続登記促進に関連する施策として、法定相続情報証明制度、長期相続登記等未了土地解消作業を実施しています。

また、令和元年度からは、表題部所有者不明土地解消作業を開始し、所有者等探索委員として貴会から5名の方々を任命させていただいております。当初は、山口市下小鯖及び上小鯖地区が対象となっていましたが、その後、対象地域が拡大し、令和2年度は管内全ての登記所において解消作業を実施しています。

新規施策が続く中、これらの事業を着実に推進し、国民の期待と信頼に応えていくことは、法務局の重要な責務であると考えています。

また、当局特有の課題の一つであった山耕地番の解消作業については、平成23年度から重複する土地の一方を地番変更する形で解消を行ってきましたが、令和2年度をもって県内全ての重複地番約358万筆につき完了することができました。これまで、皆様には御不便をおかけしてきましたが、重複地番の解消により、より一層、円滑で安全な不動産取引に資することができることとなりました。

会員の皆様には、日頃から、不動産の表示に関する登記制度の適正かつ円滑な運営に御支援と御協力を賜っているほか、オンライン登記申請の利用促進や筆界特定業務における筆界調査委員、法務局の重要施策の一つである登記所備付地図作成作業においても御協力をいただいているところであり、本紙面をお借りして深く感謝申し上げます。今後とも、更なる御支援及び御協力をよろしくお願いいたします。

終わりに、貴会の益々の御発展と会員の皆様の一層の御繁栄及び御健勝を祈念いたしまして、私の着任の挨拶とさせていただきます。

本部研修会報告

令和2年度第1回本部研修会の報告

業務部理事 中川秀幸

日時：令和2年9月11日（金）
13時30分～14時30分

場所：web研修

内容：eラーニングの視聴

筆界判断の整合性についての研究

講師 寶金 敏明弁護士

参加者：会員72名

最後に、新型コロナウイルスと上手に付き合っていくためにも、zoom等のオンラインツールを今後の調査士業務にも活用して頂ければと思います。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、従来までの集合研修を開催することが困難となったため、新しい研修会の形としてzoomを使用したオンライン研修を実施しました。

事前の接続テストで参加会員に対し、カメラとマイクの接続確認と、使用ソフトの操作確認をしてもらいました。

研修会当日は日本土地家屋調査士会連合会の作成したeラーニングの中から、寶金敏明先生が講師をされている『筆界判断の整合性についての研究』を視聴しました。

その後、各支部ごとのグループに分かれ、初めてのオンライン研修についての感想等を話し合いました。

集合研修と違い移動がないのがよい、オンライン研修の受講マナーも指導して欲しい、来客や電話の少ない土日で開催して欲しい、支部研修会での利用もできるように本会によるバックアップを検討してほしい、等の意見がありました。

試行錯誤しながら行なわれたオンライン研修会という初めての試みに対し、色々な改善点も見つかりましたが、コロナ禍における新しい研修会の形として、手応えを感じる事ができました。



令和2年度第2回本部研修会の報告

業務部長 大下竜司

日時 令和2年10月15日（木）
13時20分～16時40分

場所 Web研修：ライブ配信
（ライブ配信ソフト：Zoom）

内容 『不動産登記法の沿革～登記簿（台帳）の所有者欄に関する考察～』
講師 元横浜地方法務局長、
元都城公証人役場公証人
都城市代表監査委員
新井 克美 先生

参加者 会員49名、他会会員10名

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、今回の研修もWeb研修となりましたが、財産管理人支援センター連続研修の最終回にな

る第4回目が第2回本部研修会として開催されました。

『不動産登記法の沿革～登記簿（台帳）の所有者欄に関する考察～』を研修内容として、新井克美先生に講義していただきました。理解しているつもりでしたが、土地台帳から作成された時代での違いについての説明があり、改めて勉強しなければならないと思いました。

Web研修は、研修会場に行かなくてもよく楽な感じがしますが、今回はライブ配信ということもあり準備は大変だったと思います。講師の新井克美先生、役員と事務局のみなさまに感謝申し上げます。



令和2年度第3回本部研修会の報告

総務部理事 米原太一

日 時 令和2年12月5日(土)
10時30分から正午
場 所 Web研修(配信ソフト:Zoom)
研修内容 ①「やってみようオンライン
申請(第1部電子証明書
を取得しよう)」
②土地家屋調査士業務にお
ける倫理について
参 加 者 50名

まず、杉山浩志会長の挨拶から始まり、その後各部長及び副会長より会務報告を行って、研修本題に入りました。

そして、2部構成の第1部として、業務部作成の動画「やってみようオンライン申請(第1部電子証明書を取得しよう)」を再生しました。内容としては、題にもあるとおり、まずオンライン申請最初のステップである電子証明書の取得方法を解り易く解説するものでした。

まだオンライン申請をしていない会員の方々もいらっしゃるかと思いますが、まず最初の入り口である電子証明書の取得を具体的に解り易く解説していて、オンライン申請のハードルも下がったものと思われます。

その後、第2部として、総務部より、土地家屋調査士業務における倫理についてと題して、まず周原部長の事前挨拶から始まり、私米原が過去にあった苦情の具体例を2例ほどとプラスαとして簡単に2例ほど説明させていただきました。

その後、西村理事より戸籍等職務請求の注意点を中心とした話を、周原部長に総括的な話及び統計的な話をさせていただきました。

全体的には3人共が何度も触れたように、依頼者及び関係者に対して業務内容や報酬に関して説明を尽くしていないがために感情的

になったり、信用出来なくなったりした為に問題になり、会への苦情に至った、というパターンが多いような気がします。

おそらく大部分の会員の方は自覚をもって業務を行っていらっしゃるのでは大丈夫かと思いますが、今一度、依頼者及び関係者と信頼関係を築く様に努め、誠実に業務を行う、という意識を持っていただきたいと思います。

最後に、今回初の試みとして、この研修会についてのアンケートを実施しました。

内容は、

- 1、開催日について57%の方が「土曜日」と回答しました。
- 2、研修内容について88%の方が「とても良い」「良い」と回答しました。
- 3、今後の研修内容について42%の方が「業務に役立つツールについて」と回答しました。
- 4、今後の研修形式について64%の方が「[Zoom]等のWeb研修」と回答しました。

上記の結果は次回研修の参考にするとのことです。

新型コロナウイルスの影響で、数年前には考えもなかったスピードで老若男女問わず、ありとあらゆる人々の生活が激変してしまいました。マイナスの影響も多大ですが、各自自分の事務所や家庭にてWeb上で研修を行うという、今までになかったスタイルで研修が出来るようになってきたことは、これからの時代プラスに考えて行くべきことかもしれません。そんなことを実感しながらの研修でした。

以上で、乱文乱筆では御座いますが、令和2年度第3回本部研修会の報告とさせていただきます。



令和2年度第4回本部研修会の報告

境界問題解決支援センターやまぐち 副センター長 浦井義明

令和2年度最後の第4回本部研修会は、令和3年3月13日（土）に午後3時から2時間の予定で「山林原野の諸問題 ～山口県の争訟を通じてみえること～」と題する、山口県弁護士会との合同研修会を開催した。

本会のADRセンター運営委員であり、(一社)管理権不明センター理事長の中山修身弁護士を講師に中山・石村法律事務所 e・コート対応チーム、林弘土地家屋調査士の協力のもと、調査士会員65名、弁護士会員7名、他会員8名、法務局2名の総勢71名が参加して行われた。

なおこの研修は、ウェブ研修（Zoomによるライブ配信）の形式で、上記参加者のうち調査士会館には7名の出席で行われた。



冒頭、登録10年未満の若手弁護士さんへ、土地家屋調査士さんへと、山林原野の諸問題パート2として山林原野を取り上げる目的の趣旨説明があり、山口県内の都市化する山林地番の複数都市の実例を取り上げ、法的な観点から問題点を掘り下げ、対策を協議する研修を行った。

研修の進行は次のようなキーワードと文献をもとに行われた。

「山林の境界界と所有」「入会林野近代化法」

「共有関係の処理」「行政による利用権の設定」
「不動産法制と公示制度の変遷」「筆界特定意見」

「所有権確認境界確定訴訟」「訴訟物所有権隣接土地との公法上の境界」

「都市近郊の山地番の境界（所有権界）確認」



文献

「地図の沿革：調査士会」「土地白書：国交省」
「山口県市町村史図：山口県史図研究会」「防長土図：県立美術館」

「山林原野の問題（総論）」「農地中間管理機構事業推進法」

「地図の現状と将来：民月」

「所有者の所在の把握が難しい土地に関する探索・利活用のためのガイドライン」

研修は講師の熱の入った、時間の経過も忘れての、1時間余り延長するという、結果的には従来のアルコールの摂取のない延長研修会であった。

また研修会終了後には「この研修は全国規模だ、保存版だ、講師の偉大な成果だ」「ウェブ研修はこれを最後にしたい、早いうちに対面研修を再開できるよう期待する」という意見があったことも特筆する。

登記制度創造プロジェクトの報告

70周年記念事業実行委員会委員長 白石龍二

70周年記念事業（登記制度創造プロジェクト）として、山口県のへそ（重心）の整備、松下村塾の登記を行ったのはご存知と思います。事業は行いましたが、最終目標の広報活動に繋げることがなかなか難しく、諦めかけていましたが、幸いなことに両事業ともテレビ山口（tys）に取り上げて頂けることとなりました。

まず、「ちぐまや家族」の番組内で、山口県のへそ（重心）の整備を取り上げて頂きました。4月6日に、沖永アナ、兼頭アナをむかえ、仁保庵社長様、杉山会長、井上副会長、中川理事、山根理事と私で仁保庵にて収録を行いました。中川、山根両理事と私は、エキストラで、井上副会長の独壇場でした。井上副会長の巧みな話術で終始笑いがたえませんでした。ほぼカットされていることですが、放送が楽しみです。（原稿記載日は放送前です）

また、村岡山口県知事のご協力を得て、山口県観光スポーツ文化部で、観光名所としてPRして頂ける予定であり、事業としては大成功だったと思います。

松下村塾の建物表題登記事業は、4月9日に「松下村塾・吉田松陰幽因ノ旧宅」建物表

題登記成果品贈呈及び記念樹植樹式を行いました。松陰神社のご厚意で、記念樹を境内内に植樹させて頂きました。記念樹は、神代曙（ジンダイアケボノ）という桜の木です。神社にふさわしい名であると宮司さんにお褒めの言葉を頂きました。植樹は時期があるため、2月24日に前もって植えました。残念なことに、3月初旬が暖かかったおかげで、3月12日前後に花が咲いたそうです（表紙の写真）。式典時は、葉桜となっていました。毎年調査士会の植えた桜が咲きますのでぜひ見に行っ心身ともにリフレッシュしてください。式典のようすは、その日の夕方のニュース（tys mix）で放送されました。

また、ウィキペディアで松下村塾と検索すると、山口県土地家屋調査士会が建物表題登記を行った旨が記載されています。皆さんも探索してみてください。

両事業とも広報活動につなげることができ、安堵しました。

最後になりましたが、このプロジェクトにご協力いただいた、仁保庵、松陰神社の皆さん、事業を行った会員の皆さん、ありがとうございました。



tysによる「へそ」の取材の様子



成果品贈呈後の植樹の様子

支部だより

令和2年度第1回周南支部研修会及び親睦会の報告

周南支部理事 西田泰則

令和2年11月7日午前9時、下松は笠戸島大城第二駐車場に総勢14名参集。秋雨煙る外史公園銅像前を発って、一行は一路摺鉢山山頂三角点を目指して進んだ。



霧雨の山道をものともせず、皆足取りも軽やかに、ぐんぐん上がって行く。元気なのは良いが、気が逸ってハイペースになるのは山行自滅パターンである。稚気満々で楽しいが、しょぼい山でも侮ってはいけない。

行程はごく短いながら、途中天狗岩に寄り道しようということになった。大城別れを左に折れ、しばらく下ると、岩壁にせり出す巖の突端が開ける。そこが天狗岩である。晴れていれば、対岸に虹ヶ浜の白砂清松が優美な弧を描いて望見されるはずなのだが、濃霧で眺望はない。時折風が霧を押し流して、遙か眼下に浜辺を洗う白波の情景が現れる。すると一挙に高度感が増し、下を覗き込んだら震えがきた。足元の岩の間にはクライミング用のアンカーが打ってあるので、誰か登った人がいるのである。圧巻の景色を前に皆冗談を言い合いながら天狗岩を後にした。

主目的の摺鉢山には、元の道を辿って程な



く到着。山頂三角点のところで記念撮影した後、さっさと帰路に就いた。下りも相変わらずハイペースで転がるように下山したが、怪我がなくて良かった。



家族旅行村で少し時間を潰し、大城に帰還したのはお昼前である。そこで美味しい午餐をいただいて散会。

今回の研修は、自粛の件もあって、実体はハイキングに近かったが、しかし会員の高齢化を見据えると、定期的に体力の維持増進を図っていくことは有益である。下山の途中、T先生がそう仰るのを聞いて、それもそうだと思って妙に納得した。

令和2年度第1回下関支部研修会の報告

下関支部企画委員 百合野 崇

昨年から続く新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い従来までの集合研修を開催することが困難になっています。なかなか収束が見えない中、集合研修の再開時期も不透明な状況が続いています。

今後リモート会議やオンライン形式での研修が主流となっていく流れのようです。

そのため、次年度に本部研修として予定しているインターネット回線を利用した義務研修にあたり支部会員の皆様にインターネット回線の環境の準備の促進をはかるため、令和

3年2月26日にインターネットを使用したオンライン支部研修会を実施しました。

まずはZOOMに接続出来た会員から質疑応答形式でネット回線の環境に問題が無いか確認していきました。その中で、やはりパソコン操作やインターネット回線の環境に対して様々な心配を抱えている方がいらっしゃったように感じました。その結果、研修時間終了間際まで質問が次々に挙がり、これからのオンラインによる研修や調査士業務へより良い影響を与える研修会であったと思います。



「表示登記の日」 無料相談会報告

「表示登記の日」 無料相談会開催場所・相談件数

日時	場所	件数
4月1日(木) 10:00~15:00	山口地方法務局周南支局 3階会議室 周南市周陽2丁目8-33	7
3月28日(日) 10:00~15:00	フジグラン宇部1階 ドコモショップ前 宇部市明神町3丁目1番1号	9
合計		16

周南会場

周南支部理事 重田正将

日 時 令和3年4月1日(木)
午前10時～午後3時
場 所 山口地方法務局周南支局3階会議室
相談件数 7件

上記のとおり表示登記の日無料相談会を開催し、相談員5名で7件の相談に対応いたしました。

相談内容としては、隣接者の構造物が越境しているといった境界に関する相談が3件、分筆に関する相談が2件、所有権移転等の権利に関する登記の相談が2件でした。

土地家屋調査士業務のみならず、他士業の

業務に関する相談もあり、答えられることに限りがあるとは思いますが、相談員の丁寧な回答で相談者の方々はおおむね満足して帰られたのではないかと思います。

この度の相談会では、開始時間前から待っている方や、1時間以上に及び相談される方もおり、そのような不動産登記、境界に関して悩みを抱えている人が気軽に相談できる無料相談会を開催することの意義を改めて感じることができました。

こういった方々の期待に応えることができるよう、自己研鑽を怠らず、精進して仕事に取り組んでいきたいと思っております。



宇部会場

宇部支部企画委員 村田 淳

日 時：令和3年3月28日
10：00～15：00
場 所：宇部市明神町3丁目1-1
フジグラン宇部
相談委員：午前 4名 午後 4名
相談者：午前 6名 午後 3名
相談件数：午前 6件 午後 3件

相談会場は、前回の「杭の日」無料相談会の会場と同じ、宇部市の郊外に位置する商業施設・フジグラン宇部の1階の中央スペースに設置しました。店内は、雨天にもかかわらず、マスクをつけた方々でにぎわっていました。

相談の内訳

午前

1. 空き家になっている隣地の木の枝が道路にはみ出ており、通行に支障をきたしている件
2. 自分が所有する山林の所在が特定できない件
3. 自分が所有する土地の所在が特定できない件
4. 建物の種類が居宅・事務所となっているところ、事務所部分を現在使用していないので、建物の種類を変更する必要があるのかという件
5. 不動産を売却したが、相手方が登記手続きに協力しない件
6. 境界確認書面への承認依頼があった、この理由を説明してほしい件

午後

7. 建物の表題登記は必要か、また、敷地に土地が複数ある場合、合筆登記をしなければいけないのかという件
8. 山地番で地図のない土地の境界確認に要する費用はいくらくらいかという件
9. 土地を分筆するにはどうすれば良いかという件

相談者の年齢は56～85歳で高齢者の方が大半でした。相談会開催を知ったきっかけは、ローカル紙：3件、ラジオ放送：2件、市町村広報紙：2件、店内で見かけた：2件ということでした。相談の中で我々が回答すべきものは7件で、資料等がないと回答できない案件もあり、我々または官庁への問い合わせをおすすめしたものもありました。

今回ご来訪された方は例年になく多く、皆様、我々の回答に概ね納得された様子でした。



新人研修会 受講報告

令和元年度より、これまで中国ブロック協議会で行っていた新人研修会が、日調連の主催により、中央研修という形で行われることとなりました。

今年度（令和2年度）は、コロナ禍の中、集合形式ではなく、オンライン形式で実施されましたが、4名の新入会員が受講されました。感想を寄せて下さったので紹介いたします。

山口支部 齊藤浩信

この研修を終えてまず感じたのは、全国の素晴らしい方々のお話を一度に聞けたということと、とても内容が濃い3日間だったという印象です。土地家屋調査士という仕事の責任の重大さを改めて受け止めましたし、この責任重大な仕事に携わっているということに改めてワクワクさせていただきました。

補助者の立場で事務所の先輩方の仕事に携わっているときから、試験勉強の科目となっている民法、不動産登記法や土地家屋調査士法だけでなく、仕事に関連するその他の法律や情報を基に、どのように対応するべきかを考えられている姿を見てきました。私もそれが依頼主のためになり、事前に事故を防ぐことができるという最善の方法だと思いますし、そのように対応したいと努めていくつもりです。今回の研修で、自分の考えていた仕事の「像」に色や形が付き、よりはっきりしてきたように思います。

各講義において講師の先生方が伝えたいことの概要やポイントは、私なりに掴んだつもりです。このときのメモやいただいた資料を再度確認し、また自分なりに深く調べ、知識としていくつもりです。コロナ禍での研修だったので、同期の方々との親睦をより深めることが難しい形でしたが、無事に受講できたことはとても嬉しく思い、関係する皆様に変感謝致します。これからも一人前となるよう精進して参ります。

山口支部 荒木 進

「調査士の歌」があることにまず驚きました。それだけ先人がこの仕事に誇りをもって、そこに続く先輩方が熱い思いをもって制度を守り発展させてきたのだろうなと感じました。

講習の内容も、土地家屋調査士としての心得、職責、倫理、業務、事務所の運営、境界の知識と実務など、本当に多岐にわたっていて、講師の先生方の熱弁から新人の一人一人に「何とか一人前の調査士となってほしい」という思いがひしひしと伝わってきました。

これまで講師の先生方が培ってこられた膨大な知識や経験を何とか限られた時間内に詰め込んで、一つでも多く伝えようとする講義ばかりで、もっと深掘りして聞きたいと思う場面が多々ありました。

3日間の研修を通して、ここで学んだことを糧に土地家屋調査士として恥ずかしくない仕事をしていけるよう、更に研鑽を積んでいこうと思いを新たにしました。

短い時間の中で調査士としての心構えや貴重な知識を教えていただいた講師の先生方、また運営に携わっていただいた連合会や調査士会の皆様、こういった機会を与えていただいて本当にありがとうございました。

防府支部 松田幹央

3日間の日程で土地家屋調査士新人研修に参加させていただきありがとうございました。本年はコロナ禍の影響で、東京会場に講師の先生方を招き、他の会場はリモートでの参加という異例の開催となりましたが、滞りなく受講することができ、大変有意義な研修となりました。

会員の心得、調査士としての倫理を始め、報酬の運用、筆界確認の実務、関連法、事故例など、大変興味深い内容の講義を受講することができました。特に、筆界確認の実務は、これまでも補助者として実務には携わってまいりましたが、改めて気づかされることや参考にすべき内容が多く、土地家屋調査士という仕事は改めて奥が深いものだと感じさせられました。今回の研修は、今後、調査士として業務をしていく上で役立てていきたいと思えます。講師の方の質疑応答に参加できない、という点は少し残念に思いましたが、このような時世でお忙しい中、大変有意義な研修を開催していただき、誠にありがとうございました。

同期の方々と机を並べて学習するのはとても楽しかったし、事務局の皆様や先輩の方々が、準備に尽力して下さったことが嬉しかったし、自分も調査士の一員になったのだと思うと、身が引き締まる思いです。今回の経験を自身の未来に役立てて恩返しできればと思っております。研修に携わった方々、講師の方々に、厚く御礼申し上げます。

周南支部 山下裕司

令和2年12月21日～令和2年12月23日に新人研修に参加させていただきました。

初めてのリモートでの研修会ということではありましたが、全国で活躍する先輩方の講義を受講することができ、大変有意義な研修となりました。

講義の内容は法令や実務、倫理、ADR等多岐にわたり、内容についても非常に濃密なもので、ついていくのに一生懸命でした。私自身、補助者として約17年間、経験を積んでまいりましたが、今回の新人研修を受講し、今一度初心に戻って日々精進していきたいと思いました。

今回の講義の内容は今後の業務にとっても役立つものだと思いますので、テキスト等の関係資料は大切に保管し、実際の業務に活用していきたいと考えています。

最後になりましたが、お忙しい中今回の研修会を開催するにあたりご尽力された皆様方に対しまして、深くお礼申し上げます。ありがとうございました。

出前授業の報告

下関工科高等学校出前授業の報告

下関支部企画委員 百合野崇

令和3年2月2日（火）に下関工科高等学校で午後1時30分から約2時間（5、6時限目）、建設工学科土木コースの2年生の生徒に対して出前授業を行いました。下関支部からは同校OBでもある星本副支部長、同じくOBでこの出前授業の企画担当した半野理事、中川企画委員兼本部理事、と私（百合野）の4名で参加いたしました。

昨年度に引き続き、年度当初より同校の測量実習に支部役員持ち回りで年5～6回程度お手伝いとして参加させて頂き、生徒とのコミュニケーションを図った後に出前授業という形を取りました。

以下当日の授業内容を簡単ではありますが列記いたします。

- 1、副支部長挨拶（卒業後の経歴から資格取得の経緯について）
- 2、中川企画委員兼本部理事（夫婦で行う業務の話や報酬の話）
- 3、半野理事（受験の経緯や調査士業務について）
- 4、BSジャパンで放送された番組「境界を探せ」（27分）視聴
- 5、測量に使用する高性能ドローンの紹介（強風による悪天の為飛行不可）
- 6、測量機器（3D精密トータルステーション）の簡単なデモ



7、6の観測データを解析ソフトによる点群データ化作業

話の中で、「土地家屋調査士ってどんな仕事をしているの？」と同じように将来のビジョンを模索している生徒たちが関心を示したのが報酬の話です。日本人の平均年収が400万円台である中、私達「土地家屋調査士」がどれだけ報酬を得られるのか？中川企画委員兼本部理事が冗談も交えながら面白可笑しく説明されていましたが、その話を聞く生徒達は驚きながらも非常に関心があるように見えました。また、近年のなりたい職業上位に入る「eスポーツのプレイヤー」と同じようにゲーム感覚でドローンを飛ばせることや、3Dの画像データに多くの生徒が興味を示してくれました。

不動産に係る法律制度の仕組みや測量技術について、そして、社会人としての心構えを身につけて貰えるよう、測量と不動産の表示に関する登記の専門家であり国家資格者である私達「土地家屋調査士」が社会貢献活動の一環として直接学校現場に赴き出前授業を行い、近い将来、社会に巣立っていかれる高校生の皆さんが、「土地家屋調査士」という職業の一つを知り、よりよい社会生活を送って頂くための進路選択の幅を広げる助けになってくれればと期待します。



事務所紹介



周南支部

西本聡士 事務所

光市虹ヶ丘一丁目16番13号

にしもとさとし
会員氏名 西本聡士

Q. 家族構成・(事務所のスタッフ)について教えてください。

家族構成についてですが、現在母が老人ホームへ入居し、私は一人で母の家に住んでいます。直線距離で50メートル離れている私所有の家は、息子夫婦が孫2人と暮らしています。

事務所には女性2名のスタッフがいます。



Q. 事務所の所在地について教えてください。

事務所は光駅の北側、駅北口正面にあるセブンイレブンから約100メートル東側にあります。私の事務所も昔ローソンだったところを長く借りています。



Q. 調査士になったきっかけは？

大学4年生の時、父親の勤務の関係で広島県の福山市に住んでいました。年末に法務局でアルバイトをしていたのですが、当時の福山は街の成長が著しく、登記所には年末になるとミカン箱一杯の申請書を抱えて申請に来る調査士さん方が数多くいました。年が明けた正月三日に強引に開けさせたクラブへ連れていかれ、豪快に遅くまで酒を飲み、騒ぐ調査士さんたちに感銘を受け「これからは調査士の時代だ、調査士の資格を取れ」とのアドバイスに軽い気持ちに乗ってこの道を目指しました。単純にそれがきっかけです。コンピューター化により廃棄処分されているとは思いますが、私が50年近く前に作成した紙の登記簿が存在しているかもしれませんね。(笑)

Q. 趣味・特技・自慢・(最近ハマっていること)などについて教えてください。

趣味はありきたりの旅行です。JRの方々と旅をした思い出は今も時々思い出されます。特に岩国の田村先生の中国での自慢話、防府の林先生とのお土産を買い足した空港での思い出、宇

部の高杉先生が新幹線に乗り遅れた話、私が名古屋空港で麻薬犬に怪しまれ荷物を全て開けさせられて時間を掛け、皆さんに迷惑を掛けた話など、数多くの挙げきれないエピソードがあります。

Q. 調査士業務の中で一番印象に残っていることは？

補助者の頃の話です。当時周南の宮崎晴雄先生の事務所で補助者として働いていました。同じく前田隆男先生も同じ事務所で働いておられ、前田さんが現場代理人、私が主任技師で中国地方を縦断する中国電力の鉄塔敷地の用地測量を担当していました。岩国市の旧本郷村から周南市の旧鹿野町を除く山口市の旧徳地町までの鉄塔用地の測量をしました。もし私に山林番に対する知識があるとするならばその頃鍛えられたものだと思います。

今は登山道もない急峻な山の頂上などへは登れませんが、標高が1000m級の平家ヶ岳、馬糞ヶ岳などの頂上に上って測量したことは人生のかけがえのない素晴らしい思い出です。近くを通過して遠くへ見えるそれらの鉄塔を眺めた時、いつもその頃の事を思い出し、感慨にふけています。

Q. 座右の銘、好きな言葉、尊敬する人物等について教えてください。

座右の銘は青年会議所の役員時代から用いています「應」です。どのような依頼にも應えらるのポリシーで業務を行っています。

尊敬する人は特に思い当たりませんが、経営の師として宮崎晴雄先生、技術の師として前田隆男先生をいつも見据えています。

Q. 調査士として、これだけは譲れないポリシーやこだわりはありますか？

譲れないポリシーは、自分はその依頼に対し、どの方向を向いて業務をしているかということです。業務の依頼は仲介業者経由のものが多いたのですが、提出する地積測量図に職印を押すためには、責任のある業務を行いたいと思います。

Q. 休日の過ごし方について教えてください。

休日は最近コロナの関係で大好きな旅行にも行けず、気分転換に近場でドライブばかりしています。このところ孫を乗せての買い物ツアーが多いですね。

もう廃業されましたが、同期の役員をしていた吉田多里さんと65歳になったら人生最後の車を買おうと話していて、2ドアのオープンカーを吉田さんに遅れて購入しました。彼が赤色のボデー、私が黒のボデーです。最近お会いしていないのでまだ保有してらっしゃるかは不明です。

Q. 将来のビジョンについて教えてください。

将来のビジョンは、いつも横に乗せている現在6歳の孫が跡継ぎになってくれる年までこの業務を継続し頑張ることです。

Q. 好きな食べ物、嫌いな食べ物

嫌いな食べ物は特にありませんが長い魚は嫌いです。ウナギや太刀魚も適当な長さで出てくれば食べます。以前中国を旅行した時にウナギを注文したら、一匹を長いままとぐるを巻いた状態で出されて以来嫌いになりました。

Q. これからの調査士に望むことはありますか？

これからの調査士に望むことは、金子みすずではありませんが、「みんな違ってみんな良い」業務を目指していただければベターだと考えます。

先日宇部の水津先生と話をする機会があったのですが、永久標識の埋設について、最近ではコンクリート杭を入れる会員が少ないと嘆いておられました。同感です。

Q. 使用している光波、測量ソフト等を教えてください。又、その良いところは？

使用している機材は

GNSS GCX 3 ソキア

自動追尾SX-105T ソキア

測量ソフトは

コスモスAX MultiXCAD

Q. 現場作業や事務作業において効率が上がる特殊な道具類があれば教えてください。

最近では物忘れが多くなり小学生が使う画板に図面を張り付け立ち合いの時に持ち歩いています。どの会員さんも一緒でしょうがカメラと画板は必需品です。(笑)



萩支部

伊藤正典 事務所

長門市仙崎1104番地2



いとうまさのり
会員氏名 伊藤正典

Q. 家族構成・(事務所のスタッフ)について教えてください。

私(今年72才)、妻、長男(社会人、関東在住)。両親は亡くなり、今は妻と2人で暮らしています。

事務所スタッフは、過去には補助者が2名いた時もありますが、ここ10年近くは妻と2人でのんびりやっています。

Q. 事務所の所在地について教えてください。

仙崎駅前で駅より徒歩1分です。

昭和42年頃に仙崎駅前が整備された折、駅前の角地となり、食堂兼土産物店として両親が建築し営業を始めました。大変繁盛した時代もありましたが、車社会となった現在では、電車が着いても乗降客はほとんどおらず、無人駅です。昭和の終わり頃には食堂も廃止し、空き店舗状態でした。

私が長男ということもあり、平成元年に地元に戻って開業しました。内部を事務所用として改装し、残りの部分は貸し店舗にして現在に至ります。

Q. 調査士になったきっかけは？

大学を卒業後、一般的な会社員(サラリーマン)となり大阪、姫路などに赴任しました。その後、昭和53年頃に土地家屋調査士という職業を知り、少し興味があり調べていたところ、山口市内で司法書士・土地家屋調査士兼業の事務所に事務員の空きがあり、翌年にサラリーマンを辞めて補助者として採用していただきました。調査士試験には57年に合格しましたが、昭和62年までお礼奉公をしました。

当時の測量は今と違い、最初は平板測量でした。アリダードやテープ測量など、懐かしい思



い出です。昭和50年代の後半にトランシット（光波一体型はもう少し後です）や、今のようなCADソフト・図化機などが普及し始めました。

出始めということもあり、かなりの高額だったものです。

Q. 趣味・特技・自慢・（最近ハマっていること）などについて教えてください。

人に言えるほどのものはありません。

Q. 調査士業務の中で一番印象に残っていることは？

事務所近辺での集団和解方式の地図訂正・地積更正登記です。

1年目に事前調査測量・境界確認、2年目に地図訂正外同意書確認書・登記の運びという2年計画の提案でした。県道・市道・JR・市有地・民間所有地（地権者8名程度）の区域ですが、筆数も多く、かつ3字図が入り組んでいました。公図をはじめ、備え付けの地積測量図などと現地の状況とがまったく違っており、地図混乱地でした。昭和40年代初頭に、駅近辺を整



備するなかで、立ち退き代替地は計画図として存在し、現地の割り当てについても皆さん了解済みでした。しかし、登記の手続きがお粗末な状態で、登記面積はなんとか皆さんの割り当て面積とほぼ整合できましたが、公図などの位置関係は適当もいいところでした。しかも計画の途中で突然1名の地権者が自己破産し、破産管財人と交渉したものの取り合ってくれませんでした。最終的に隣接の所有者が落札しようやく前進。JRの登記簿も公図の中ほどに残っていましたが、公図の位置の変更など様々な協力をいただき、なんとか地図訂正・地積更正登記を完了しました。このとき、関係者全員に印鑑証明書付の同意書をいただき、担保関係者についても同様の対応を取りました。

このような集団和解方式の処理は全部で4か所ほど担当しましたが、どの案件も困難を伴い、現地と登記簿・公図が一致しない地区ばかりでした。現在は地籍調査による14条地図の地区がかなり整備され、測量も随分楽になりました。

Q. 使用している光波、測量ソフト等を教えてください。又、その良いところは？

測量ソフト 福井コンピューター
トータルステーション トプコン

Q. 30数年間の感想

平成元年の登録時、分筆は部分測量でした。いわゆる求積部分のみの測量です。したがって、地積測量図は参考程度でしかないことも多くありました。むしろ、隣接地を含めて分筆等の測



量図のない依頼のほうが楽だった記憶があります。測量図があれば、むしろ面倒でした。当時の登記官も公図第一主義の時代であり、公図と測量図が一致していなければ受理しないとか……そういう時代でした。

山口会の役員は全筆測量を会員に周知し、会として義務化しました。他県に先駆けての試みでした。今では全国の土地家屋調査士も全筆測量が当たり前ですが、当時は会員からも反対の嵐でした。

また、本会は筆界点への極力永久標識となるコンクリート杭の埋設も謳い、宿泊研修で、各支部のコンクリート杭埋設講習まで実施したことを思い出します。

「杭を残して悔いを残さず」とはよく言ったものですが、当時のコンクリート杭は今でもしっかりと残っています。

県土木をはじめ各市町村の嘱託分筆申請も、以前は申請業務のみの受託も可能でしたが、長年の役員 노력により、現在では測量の分離発注となり、調査士本人の境界確認・全筆測量・登記申請まで受託できるようになりました。

昭和61年に山口県公共嘱託登記土地家屋調査士協会が設立され、私は平成元年に入会しました。以後しばらくは、国鉄民営化後の整理のために調査測量が大量に発注され、各支所を挙げての受託もありました。大変な時代でしたね。各駅だけでなく、山陽本線をはじめ駅間の線路間の確定測量も何キロとありました。先輩の調査士の先生に手ほどきを受けながら、色々な経験ができましたし、他の調査士との合同チームでの作業も大変勉強になりました。

その後、各市町村への土地家屋調査士の啓蒙に努めそれが今に繋がっています。過去の先輩方の努力があってこそ、現在の土地家屋調査士の地位があると思います。私自身はその他に、法務局長門出張所の一筆対査事業を受け、また市町村合併の前でしたが、法定外国有財産の4年がかりの申請もどうにか無事に納品できたことを思い出します。

大過なく無事に調査士の一員として過ごすことができたのも、先輩方や同僚、本会役員のためゆめぬ努力と指導のおかげです。30数年間を振り返りつつ、あらためて感謝を申し上げたいと思います。

山口青調会の活動

山口県青年調査士会 オンライン飲み会(忘年会)の報告

山口県青年土地家屋調査士会副会長 荒川 猛

日時 令和2年12月19日(土)午後7:00より

オンライン方法 Zoomを使用

準備物 飲み物(アルコール可)・お好みのおつまみ、
Zoomができるパソコンなど

参加者 青調会会員32名中11名



コロナ禍により当たり前のように毎年開催していた研修会や懇親会が開催できず、大変残念な思いをしてきましたが、この度山口県青調会ではZoomを使用して世間で話題となっているオンライン飲み会をやってみよう！と新しいチャレンジをしてみました。

参加者は自宅や、事務所、中には旅行先のホテルからそれぞれがパソコンやスマートフォンでZoomにアクセスし、午後7:00にみんなで顔を合わせて乾杯の音頭を山根会長がおこないました。

普通のお店の飲み会と違う点は普通の飲み会であれば目の前に対峙している、もしくは隣に座っている人とコミュニケーションをするので2~4人くらいで同じ話題を共有するようになりますが、今回のオンライン飲み会の場合は11名全員が一つの話題で終始話をしました。口数に個人差があるため発言に偏りがあるという懸念はありますが、みんながいろんな議論をしているのを聞いているだけでも楽しいですし、気になるところはすぐに質問できる雰囲気がありました。自然とMC的な役割ができる人が現れて(今回は大森さん)そのMCが『〇〇さんはどう思う?』って振ってくれるので、テレビ番組のひな壇タレントになった気分で、つつこみやボケもあり、自然と楽しい時間が過ごせました。

今回のオンライン飲み会の案内には①地積測量図の話(地区で作成方法が違う!?)②境界確認書の話(作成方法・印取り方法etc)③ちょっとしたゲーム(勝者にはAmazonギフト券をプレゼント!!)と案内を出していたのですが、①と②の話題が白熱し話題が尽きることがなく、せっかく山根会長が用意していたゲームは結局することはありませんでした。

飲み会とは、人と人が対峙して膝を突き合わせて腹を割って話をするから本音が聞けるし、それが楽しい、それが醍醐味だ!、、、という意見はごもっともですが、私の個人的な意見ですがオンラインの飲み会もこれはこれで楽しいもんですよ。

ぜひ各支部でもオンライン飲み会を企画してみてもはいかがでしょうか?

平時ではないコロナ禍において、山口県土地家屋調査士会会員同士のコミュニケーションを守っていくオンライン飲み会を推奨します。

自主講座の回想

岩国支部 浦井義明

私が調査士会に入会以来、過去に数回行った独自の自主講座を振り返って見たい。

第一期 昭和時代 「今からは、コンピュータの時代だ」

平板測量が主流の時代、数値測量計算は手計算で行っていた当時は、測量計算のコンピュータソフト一式が数百万円もする時代であった。

岩国支部会員諸兄を集めて、数千円のプログラム機能付き関数電卓で測量計算を行う、初めての自主研修会を行った。これは現場で測量計算することもでき、境界復元作業するのに大いに役立った。

その後、数万円の印刷機能付きポケットコンピュータで測量計算を行う研修会も開催した。島根会からの要請で、個人的に島根県松江市で、自主研修会を開催に出かけたこともある。

ところで、コンピュータを使用する目的は、生産性のアップや業務の効率化のためだけにあるのだろうか。それによって省力された時間を人間らしい文化創造活動に回さにかいけん。

あらま欲しき人間像「浦小路義麻呂」の世界へだ。



第二期 平成初頭 「こりゃあ、地籍調査を基礎から学習せにかいけん」

平成の初め、「地籍図ができるまで、できた地図の扱い方」と題して、国土調査の目的、意義、概要を理解し、地籍調査の流れを具体例を元に習得し、公差と誤差、公差の具体的運用を徹底的に学習した。

当時の研修資料は、今でも、私の事務所のバイブルである。

第三期 平成後期 「国策としての国土調査の変遷」を学ぼう

平成の終わり、先の自主講座のバージョンアップとして「地籍調査の歴史、関係法令の変遷とその読み解き方」と題して、地べたを這いずり回る土地家屋調査士という立場と視点を越えて、国策たる関係法令の変遷を学習し、地図、登記簿を取り巻く現状と課題を学習した。

これは、日常業務で付き合いのある、法務局岩国支局と岩国市役所の関係者の資料提供と物理的会場提供等の協力のもと行ったものである。

お宝の収穫があったことは「会報やまぐち」132号をご一読下さい。



第四期 令和の時代 「蓄積した情報の発展的活用」をしよう

アクセスによる「浦井事務所の業務管理」の紹介

平成の初めに、自分専用独自の業務管理（人物・事件・資料・業務・報酬）をデータベースソフト・アクセスで作った。それには、業務開始以来、約40年間にわたり蓄積した公開情報並びに独自情報を入力し、永年にわたり、日々修正・酷使し、重宝している。

近いうちに、受講者を数名に限定して、この非常に機能的なデータベースソフトを紹介する自主講座を考えている。

以上





山と川そして
錦帯橋を愛した男
中島順一さんを偲んで

鮎かけ名人は自分で食することはなかった。
支部総会や研修会でよく冷凍アユを頂いた。

岩国藩鉄砲隊 平成14年史跡巡り



撃て

会員、隊員、モンゴルからの皆さんと

支部研修会（平成元年、羅漢山）



また一人、まだ6人
手にしているのは地理院地図



平成6年 支部研修会 うずしお荘

笛師：中島順一



平成21年 錦帯橋での鶺鴒い開き

よしまる

MOËT & CHANDON (モエ・シャンドン・ロゼ)

萩支部 廣石 勝

仏のエペルネに本拠を構えて、自社畑も1000haを持つ最王手のメーカーの品物。値段は3,000円前後で販売されている。

白・インペリアル・ロゼ等の種類が販売されていて、お手軽なフリユット200mlもあり、当然、シャンペンの種類である。

白は軽い料理に合うのに対し、ロゼは少し冒険が出来て、鴨・肉・キノコ料理にも合う。酵母抜きをして味を重ねていく。最低でも7年寝かせた物をヴィンテージと言い、チーズにも合い、野イチゴのような香りがあり、大変まろやかで味が良く、飲み口が良いのが特徴である。白よりもロゼの方が、辛口で一段と味が良い様である。パリコレの公式シャンペーンに認定されている。

100年前の1911年物がオークションで、何と1本が140万円したとか、びっくりします。



事務局だより

会員異動状況

1. 会員入会状況

	ふりがな 氏名 (生年月日)	入会 年月日	事務所	TEL	FAX
	やました ゆうじ 山下 裕司 (S50.12.20)	R 2.11.2	〒745-0801 周南市大字久米 1250番地の11 102号	(0834) 34-9253	(0834) 34-9253
	うちだ あきひろ 内田 明宏 (S54.6.16)	R 3.3.10	〒759-2222 美祿市伊佐町伊佐4832番地	(080) 6322-8389	(0837) 53-1694
	いのうえ ゆうた 井上 雄太 (H 6.12.19)	R 3.4.1	〒740-0017 岩国市今津町二丁目17番1号	(0827) 22-0205	(0827) 22-0248
	ふじえ よしたか 藤江 義高 (S54.9.14)	R 3.4.1	〒753-0047 山口市道場門前2丁目5番11号	(083) 921-8887	(083) 921-8889

◆新入会員よりひとこと

周南支部 山下裕司

補助者として仕事をさせていただきながら、試験合格を機に登録をさせていただきました。至らない点もあると思いますが、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

宇部支部 内田明宏

この度、山口県土地家屋調査士会に入会させていただきました内田明宏と申します。
福岡国土建設専門学校測量設計科卒業後、測量会社に就職。その後建設業に転職し、開業の運びとなりました。
まだ調査士としての経験が乏しく、至らぬ点多々あるかと思いますが、いち早く成長し、会に貢献できるよう努めて参りますので、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

岩国支部 井上雄太

この度、土地家屋調査士会に入会させて頂くことになりました井上雄太と申します。
補助者歴は約2年で、分からないことが沢山ありますが、責任感のある重要な仕事だという認識は持っています。
実務や研修を通して日々精進していくつもりですので、ご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

山口支部 藤江義高

私は、21年間勤めました仕事を退職後、3年間の試験を経て令和2年度合格者となり、土地家屋調査士会に入会させていただきました。
趣味は、ゴルフ、サッカーをしております、下手ながら楽しんでおります。
まだ分からない事ばかりで、色々ご迷惑をお掛けしてしまう事もあると思いますが、皆様のご指導ご鞭撻の程宜しく願い申し上げます。

2. 会員退会状況

支 部	地 区	氏 名	退会年月日	備 考
岩 国	岩 国	河村 保	R 2.10.31	廃業
岩 国	柳 井	都地 素臣	R 3.1.29	廃業
山 口	山 口	宮田 武子	R 3.1.31	廃業
下 関	下 関	清水 皓太	R 3.3.1	所属会変更 (福岡会へ)
下 関	下 関	福田 眞一	R 3.3.4	廃業
宇 部	宇 部	瀬口 潤二	R 3.3.31	廃業
岩 国	岩 国	中島 順一	R 3.4.23	死亡



訃 報

岩国支部 中島 順一 会員
 昭和23年11月12日生 (享年72才)
 昭和57年6月23日 入会
 令和3年4月23日 逝去

謹んで哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈り致します。

3. 会員数

令和3年5月1日現在会員数

会員数 210 法人数 3

4. 事務所変更

支 部	氏 名	変 更 年月日	変 更 後		
			事務所	TEL	FAX
山 口	荒木 進	R 2.9.18	〒753-0042 山口市惣太夫町1番15-303号	(080) 4558-4028	-
岩 国	尾崎 友浩	R 2.10.23	〒740-0034 岩国市南岩国町一丁目33番31号	-	-

5. 土地家屋調査士法人登録事項変更

法人の名称	変 更 年月日	変更事項	変 更 内 容
三崎土地家屋調査士法人	R 3.1.31	社員の 脱 退	宮田 武子
上原・瀬口土地家屋調査士法人	R 3.3.31	社員の 脱 退	瀬口 潤二

会務報告

開催日	会務	場所
9月1日(火)	杭の日無料相談会	県下3会場 (岩国・周南・山口)
9月4日(金)	第1回本部研修会接続テスト	(電子会議)
9月8日(火)	会報編集会議	調査士会館
	第6回業務部会	調査士会館
	会則105条に基づく調査	調査士会館
	第2回理事会	山 口 市
9月11日(金)	第1回本部研修会	(ウェブ研修)
9月12日(土)	令和元年度ADR特別研修 考査	広 島 市
9月15日(火)	山口県土地家屋調査士会、山口県公共嘱託登記土地家屋調査士協会及び山口県土地家屋調査士政治連盟による三者協議会	調 査 士 会 館
9月17日(木)	財産管理人支援センター研修打合	調 査 士 会 館
9月24日(木)	財産管理人支援センター研修打合	調 査 士 会 館
9月25日(金)	会則第105条に基づく調査	調 査 士 会 館
	第3回常任理事会(第3回70周年記念事業実行委員会)	調 査 士 会 館
9月26日(土)	中国ブロック協議会役員会議	広 島 市
9月29日(火)	登記制度創造プロジェクト打合せ	(電子会議)
9月30日(水)	会則第105条に基づく調査	調 査 士 会 館
10月1日(木)	登記制度創造プロジェクト松下村塾登記打合せ	萩 市
	財産管理人支援センター研修前日準備	調 査 士 会 館
10月2日(金)	第3回財産管理人支援センター研修会	(ウェブ研修)
10月7日(水)	第1回本会役員と支部役員との協議会	(電子会議)
10月9日(金)	山口県知事への要望書提出	山 口 市
	登記制度創造プロジェクト松下村塾登記打合せ	萩 市
10月14日(水)	第2回本部研修会打合せ	調 査 士 会 館
	境界問題相談所開設	周 南 市
	山口県公共嘱託登記土地家屋調査士協会との協議会	調 査 士 会 館
10月15日(木)	第2回本部研修会、第4回財産管理人支援センター研修会	(ウェブ研修)
10月20日(火)	第7回業務部会	調 査 士 会 館
10月21日(水)	第5回総務部会(その1)	調 査 士 会 館
10月23日(金)	第2回70周年記念誌編集委員会	調 査 士 会 館
10月26日(月)	日調連土地家屋調査士制度制定70周年記念シンポジウム	東 京 都
10月27日(火)	全国会長会議	東 京 都
10月30日(金)	第5回総務部会(その2)	(電子会議)
11月2日(月)	上半期監査	調 査 士 会 館
	第2回財務部会	調 査 士 会 館
11月3日(火)	山口法律関連士業ネットワークー齊共同相談会(電話相談会)	調 査 士 会 館
11月5日(木)	第2回財産管理人支援センター運営委員会	調 査 士 会 館
11月8日(日)	登記制度創造プロジェクト記念碑設置作業	山 口 市
11月10日(火)	第6回総務部会	調 査 士 会 館
11月11・12日(水・木)	出前授業に関する意見交換会(電子会議)	調 査 士 会 館

開 催 日	会 務	場 所
11月11日(水)	顧問弁護士との協議	山 口 市
11月17日(火)	被害認定調査に関する協議会（電子会議）	調 査 士 会 館
11月18日(水)	電子会議システム「Zoom」の操作方法についての研修会打合せ	調 査 士 会 館
11月19日(木)	第2回70周年記念誌編集委員会	調 査 士 会 館
11月20日(金)	登録証交付式	調 査 士 会 館
	第2回境界問題解決支援センター運営委員会	調 査 士 会 館
11月25日(水)	土地家屋調査士法施行規則第39条の2の規定による調査	山口地方法務局
	土地家屋調査士法施行規則第39条の2の規定による調査	山口地方法務局 周 南 支 局
11月26日(木)	電子会議システム「Zoom」の操作方法についての研修会	調 査 士 会 館
11月27日(金)	国民年金基金及び賠償責任保険への加入促進に関する説明会（電子会議）	調 査 士 会 館
11月30日(月)	第8回業務部会	調 査 士 会 館
12月1日(火)	本部研修会リハーサル	調 査 士 会 館・ (電 子 会 議)
12月5日(土)	第3回本部研修会	(ウ ェ ブ 研 修)
12月8日(火)	山口地方法務局長表彰授与式	山口地方法務局
	周年記念事業に関する協議	調 査 士 会 館
	顧問弁護士との協議	山 口 市
12月9日(水)	境界問題相談所開設	山 口 市
12月15日(火)	年次研修に関する説明会（電子会議）	調 査 士 会 館
12月18日(金)	土地家屋調査士法施行規則第39条の2の規定による調査報告	山口地方法務局
	第7回総務部会	調 査 士 会 館
12月21～23日(月～水)	日調連土地家屋調査士新人研修（ウェブ研修）	調 査 士 会 館
12月24日(木)	第2回広報部会	調 査 士 会 館
12月25日(金)	(一社)管理権不明不動産対策公共センターとの協議に向けての打合せ	調 査 士 会 館
1月7日(木)	法務局への新年挨拶	山口地方法務局
	正副会長会議	調 査 士 会 館
1月13・14日(水・木)	全国会長会議	(電 子 会 議)
1月15日(金)	第9回業務部会	調 査 士 会 館
1月21日(木)	第3回70周年記念誌編集委員会	調 査 士 会 館
	第3回常任理事会	調 査 士 会 館
1月22日(金)	第3回財産管理人支援センター運営委員会	調 査 士 会 館
1月29日(金)	法務局との協議	調 査 士 会 館
	第3回理事会	山 口 市
2月2日(火)	下関工科高等学校出前授業	下 関 市
2月3日(水)	第1回役員推薦委員会	調 査 士 会 館
2月4日(木)	登記制度創造プロジェクト表題登記成果品納品	萩 市
2月5日(金)	第4回70周年記念誌編集委員会	調 査 士 会 館
2月8日(月)	登記制度創造プロジェクト「重心点設置」に係る感謝状贈呈	山 口 市
2月9日(火)	総務部・業務部合同部会	調 査 士 会 館
2月10日(水)	境界問題相談所開設	岩 国 市

開 催 日	会 務	場 所
2月15日(月)	登記制度創造プロジェクト「重心点設置」に係る豆腐製作打合せ	防 府 市
2月18日(木)	第1回選挙管理委員会	(電 子 会 議)
2月22日(月)	顧問弁護士との協議	山 口 市
2月24日(水)	登記制度創造プロジェクト成果品贈呈式打合せ	萩 市
2月25日(木)	登記制度創造プロジェクト山口県観光政策課との協議	山 口 市
	第4回70周年記念事業実行委員会	調 査 士 会 館
2月26日(金)	山口家庭裁判所書記官来訪	調 査 士 会 館
	第8回総務部会	調 査 士 会 館
3月5日(金)	第3回境界問題解決支援センター運営委員会	調 査 士 会 館
	中国ブロック協議会役員会議	(電 子 会 議)
3月12日(金)	本部研修会リハーサル	広 島 市
	第10回業務部会	調 査 士 会 館
3月13日(土)	第4回本部研修会(弁護士会との合同研修会)	調 査 士 会 館
3月16日(火)	登録証交付式	(ウ ェ ブ 研 修)
3月23日(火)	山口地方裁判所へ財産管理人候補者名簿を提出	調 査 士 会 館
	マンガ小冊子の制作に関する説明会	山 口 市
3月25日(木)	法務局長退任ご挨拶	(電 子 会 議)
3月28日(日)	表示登記の日無料相談会	調 査 士 会 館
3月29日(月)	表示登記の日無料相談会	宇 部 会 場
3月29日(月)	登記制度創造プロジェクトTYSとの打合せ	山 口 市
3月30日(火)	登記制度創造プロジェクト成果品贈呈式打合せ	萩 市
4月1日(木)	表示登記の日無料相談会	周 南 会 場
4月2日(金)	第1回総務部会	調 査 士 会 館
4月6日(火)	登記創造プロジェクト山口県の重心点TYS取材対応	山 口 市
	第2回役員推薦委員会	(電 子 会 議)
4月7日(水)	第1回境界問題解決支援センター運営委員会	(電 子 会 議)
4月8日(木)	登録証交付式	調 査 士 会 館
	山口地方法務局長着任ご挨拶	調 査 士 会 館
4月9日(金)	登記創造プロジェクト「松下村塾・吉田松陰幽因ノ旧宅」建物表題登記成果品贈呈及び記念樹植樹式	萩 市
4月14日(水)	境界問題相談所開設	山口地方法務局
4月15日(木)	決算監査	調 査 士 会 館
	第1回財務部会	調 査 士 会 館
4月20日(火)	登録証交付式	調 査 士 会 館
	会報編集会議	調 査 士 会 館
	第1回常任理事会	調 査 士 会 館
4月23日(金)	本部研修会リハーサル	調 査 士 会 館
	第1回理事会	調 査 士 会 館
4月24日(土)	防府支部総会	防 府 市
4月27日(火)	第1回本部研修会	(ウ ェ ブ 研 修)
	山口法律関連士業ネットワーク理事会	調 査 士 会 館

広報部より

編集後記

依然として新型コロナウイルスの猛威が続いており、追い打ちをかけてウイルスの変異株が蔓延し、都市部ではまん延防止等重点措置が発令され、更に三回目の緊急事態宣言が発令されました。この状態で東京オリンピック開催は・・・と世間では言われていますが、今後の感染状況次第だと思われます。現時点の新型コロナウイルスの終息の望みとしては、ワクチン接種に掛かっていると思います。

現広報部で発行する最後の会報やまぐちとなりました。今年度は70周年記念式典、記念講演は中止となりましたが、70周年記念誌は発行させて頂きました。発刊にあたっては実行委員会及び広報部で何度も協議を行い、完成した記念誌を見ると感慨深いものがありました。

本会、支部とも新型コロナウイルスの影響を受け、行事、研修等がことごとく中止となり、会報原稿にも影響がございましたが、予定通り発刊する事が出来ました。発刊に関し、原稿を書かれた会員の方、広報部そして事務局に厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

(広報担当副会長 乗川 慎二)



発行 山口県土地家屋調査士会
〒753-0042 山口市惣太夫町2番2号
電話 (083) 922-5975
FAX (083) 925-8552
ホームページ <http://www.chousashi.net/>
Eメール yamatyo@chousashi.net
発行者 山口県土地家屋調査士会
会 長 杉山 浩志
広報担当副会長 乗川 慎二
広報部長 白石 龍二
理 事 伊藤 正典
〃 吉村 憲和
印刷所 大村印刷(株)



山口県土地家屋調査士会

〒753-0042 山口県山口市惣太夫町2番2号
TEL083-922-5975 FAX083-925-8552
ホームページ<http://www.chousashi.net/>
Eメールyamatyo@chousashi.net